

文部科学省CBTシステム（MEXCBT：メクビット）活用事例 【福岡県】春日市教育委員会（MEXCBT×地方学調※1）

福岡県の春日市教育委員会学校教育課 学校ICT事業支援員の石田様から、MEXCBTを活用した学力調査についてお話を伺いました。
春日市では、これまで紙媒体で実施してきた学力調査を、令和4年度からMEXCBTを活用したCBT※2システムでの実施に切り替えました。これは全国初の**悉皆調査**となります。「基礎・基本の定着状況の把握」と「学習用タブレット端末を用いた解答に慣れること」を目的に、調査対象を小中学校全学年へ広げ、よりきめ細かな支援へとつなげていきたいと考えておられます。

1. なぜ、MEXCBTを使って学力調査を実施しようとしたのか経緯を教えてください。

- ・令和2年度に、教育長の指示で学力調査のCBT化の検討をはじめ、次の2点を目的としました。
①これまで同様**基礎・基本の定着状況を把握する**、②**全国学調のCBT化を見据え全学年を対象としたコンピュータを用いたテストを実施する**
- ・令和3年度は、「春日市通過テスト」として、小学校2年生から中学校3年生までを対象に、Google フォームを用いて試行的に実施しました。
- ・令和4年度は、**小中学校全学年（約11,000人）を対象に、MEXCBTを活用して実施**しました。

2. MEXCBTを使った学力調査の概要について教えてください。

- ・令和4年度は「算数・数学」のみとし、**解答形式は自動採点のよさを生かすために、全問「選択式」としました。**
- ・**問題作成と集計・分析は、市教育委員会が行いました。**
- ・令和4年度スケジュール概要 10月：練習テストの実施 11月下旬～12月上旬：本テストの実施 12月下旬：集計結果を各学校へ返却

3. 学力調査を実施する上で、困った点やそれらの対応等について教えてください。

- ・MEXCBTを活用した学力調査が初めてのことで、教職員や子どもたちの操作技能等の習得が必要だった
⇒対応：**市独自の運用マニュアルを作成**（教職員用、児童生徒用、特別な支援を要する児童生徒用）
教職員対象の操作研修会を実施
- ・想定していた形式での調査結果（学年別集約データや個票など）を、学習eポータル上で表示できなかった
⇒対応：**MEXCBTからCSVデータを市教育委員会で取得後、結果集計し各学校に展開**
児童生徒には、**学習eポータルで表示可能な範囲で対応**
- ・ネットワークの混雑が想定され、全校一斉での実施ができなかった
⇒対応：**2週間の実施期間を設定し、学校別、学年別に分散して実施**
- ・児童生徒の操作において、テストの終了ボタンを押し忘れた※3ため、結果が保存されなかった
⇒対応：**再テスト等を各学校ごとに実施、運用マニュアルの活用**



学力調査に取り組む児童の様子

4. MEXCBTを使った学力調査を実施してみたの感想を教えてください。

- ・児童生徒は、**MEXCBTの自動採点により、瞬時に結果を把握することができ、自身の学びの調整へつなげることができた。**
- ・児童生徒は、**将来的な全国学調のCBT化を見据え、MEXCBTの操作に慣れることができた。**
- ・学校は、**MEXCBTを活用したCBTシステムの配信方法やその行い方について理解することができた。**
- ・市教育委員会は、**MEXCBTの運用における理解が深まり、来年度以降の活用のイメージをもつことができた。**

5. 文科省へのご要望等※4ございましたら教えてください。

- ・MEXCBT内の結果表示関連機能の充実
- ・途中の計算式などを書くメモ機能、問題文に線を引く機能の追加
- ・記述式解答の自動採点、全画面表示、予測変換しない漢字書き取りテストへの対応などの機能の拡充

※1 文部科学省では、都道府県・市区町村教育委員会を対象として、地方学調等のCBT化に向けた取組状況や課題等について意見交換や検討を行う研究会を開催しており、研究会への参加を希望する自治体を募集しています。詳しくは右記メールアドレスへご連絡ください。 文部科学省総合教育政策局教育DX推進室 E-mail kyoikudx@mext.go.jp

※2 CBT=Computer Based Testing コンピュータを使用した調査。

※3 テスト終了ボタンの押し忘れの防止に資する機能（ページ離脱時の警告機能）を、R5.1月下旬にMEXCBTに搭載しました。

※4 文部科学省では、いただいたご意見やご要望を参考に、順次、MEXCBTの改善を進めています。